

水路 補修工事

竣工から35年以上経過した水力発電所の放水路において、凍害により劣化し、水流により浸食された水路内面の補修を行った。
劣化部除去後、CS-21塗布により既設面の表層部を緻密化して骨材の欠落を防止し、ポリマーセメントモルタルで被覆する際に、厚みを骨材の面(型枠面)まで留めることにより、剥離を防止し水路断面の減少も回避することができる。



施工前 全景

施工概要断面拡大図

下地強化

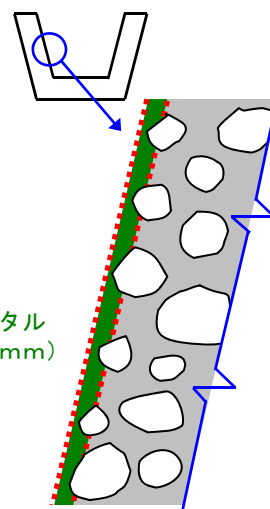
1. CS-21塗布150g/m²
2. 湿潤散水150g/m²
3. CS-21塗布150g/m²
4. 湿潤散水150g/m²

表層被覆

5. ポリマーセメントモルタル
コテ塗り (被覆厚さ3mm)

表面保護

6. CS-21塗布200g/m²
7. 湿潤散水150g/m²
8. 湿潤散水150g/m²



高圧洗浄状況



CS-21塗布状況



ポリマーモルタルコテ塗り状況



施工完了